

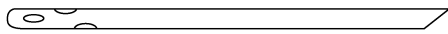
機械器具 51 医療用嚙管及び体液誘導管
管理医療機器 胸部排液用チューブ 11308102
シラスコン®カーディオソラシックドレーン
(ストレート)
(ライトアングル)

再使用禁止

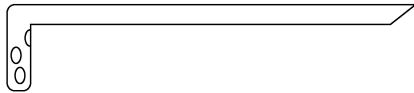
【禁忌・禁止】
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

<ストレート>



<ライトアングル>



材質 シリコーンゴム

【使用目的、効能又は効果】

胸部、心臓に留置し血液、浸出液等を体外に排出する目的で使用
する。

【操作方法又は使用方法等】

下記の使用方法是一般的な方法であり、細部については医師各位の
医療経験に照らし合わせて行うこと。

1. 閉胸前、カテーテル挿入位置に皮膚切開を加え、皮下組織を切
開しておく。
2. カテーテルを留置する際は、皮膚切開部から皮下走行部分を設
けながら胸腔あるいは縦隔内等に鉗子を穿刺挿入する。
3. 穿刺した鉗子でカテーテル後端を把持する。
4. 開胸部より皮下走行部分を通して鉗子でカテーテルを皮膚切開部よ
り体外に引き出す。
5. カテーテルの先端が目的の位置に収まるように調節する。
6. カテーテルを皮膚に固定する。
7. 閉胸後、吸引装置に接続する。

【使用方法に関連する使用上の注意】

1. カテーテルにメス、はさみ等で傷をつけないこと。〔切断の恐
れがある。〕
2. 鉗子操作の際、臓器等を損傷しないように注意すること。

3. エアリークを起こす恐れがあるので、カテーテルを急激に曲げ
たり、カテーテルの皮膚固定時にカテーテルが変形するほど強
く縛らないこと。〔エアリークが発生したときは直ちにドレナ
ージを中止し、リーク位置の確認とリークの防止処置を行うこ
と。〕
4. 皮膚に固定するときはカテーテルに直接針をかけないこと。
5. カテーテルと吸引装置は確実に接続すること。
- *6. カテーテル留置後、カテーテルの開孔部が確実に体内に留置さ
れていること及び液漏れ等がないことを確認すること。
7. 併用する医療機器については、その医療機器の添付文書に従っ
て使用すること。

【使用上の注意】

〔不具合・有害事象〕

* 一般的にカテーテル留置操作中にいくつかの症状があらわれる
ことが報告されている。以下の症状が認められた場合には直ちに
適切な処置をすること。

疼痛、後出血、感染症、菌血症、敗血症、血圧低下、不整脈、
気胸、血胸、皮下血腫、縦隔血腫、血栓症、空気塞栓症

〔その他の注意〕

- *1. 本品又は包装に破損等の異常が認められる場合は使用しないこ
と。
2. 滅菌包装開封後は直ちに使用し、使用後は医療廃棄物として処
分すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

*1. 水漏れ及び直射日光を避け、涼しく乾燥した場所で保管するこ
と。

*2. 外箱に使用期限を記載。〔自己認証（当社データ）による〕
使用期限切れのものを使用しないこと。

【包装】

5本/箱

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

[製造販売元]

名 称：株式会社カネカ

住 所：〒530-8288 大阪市北区中之島 3-2-4

電話番号：06-6226-5256

[製造元]

名 称：株式会社カネカメディックス

住 所：〒530-0005 大阪市北区中之島 3-2-4

【販売元の氏名又は名称及び住所等】

名 称：株式会社カネカメディックス

住 所：〒530-0005 大阪市北区中之島 3-2-4